

第80回経営協議会議事要旨

日 時： 平成29年9月14日（木） 14：00～16：38
場 所： 山口大学事務局1号館4階 特別大会議室
出席者： 岡，古賀，田中，吉岡，福田，堀，杉野，根ヶ山，白井，三浦
安達，今村，齋藤，鎌田，下村，田村，藤部，益田，山本
欠席者： 岩田，梅本
オブザーバー： 土谷，三石
議 題：

I. 山口大学の紹介について（教育学部）

丹教育学部長から、教育学部及び教育学研究科の取組について説明があり、質疑応答が行われた。（主な質疑応答は次のとおり ○は学外委員，◇は学部長）

- 他大学の教育学部との差別化は何かあるのか。
- ◇教職大学院の拠点校方式や学部のちゃぶ台プログラムがある。
- 教職大学院に在籍している院生は自主的に入学しているのか，推薦なのか。
- ◇現状はすべて県から派遣されている。
- 県離れ，地方離れの緩和のためにも，子ども達に地元の産業，歴史，文化を知ってほしいし，教える教員にも知識が必要なのではないか。
- 教員を目指す学生に県内の素晴らしいところをしっかりと勉強してもらい，子ども達に伝えてほしいと思っている。
- 教育とは地域を維持，支える根本だと思われる。これからも山口県の人材を山口県で育てていくように是非努力していただきたい。
- ◇COC+のYFL育成プログラムなどもあり，学生にそのような授業を推奨したい。
- 現場の先生方が迷ったり辞められていくという話も聞く中で，教員養成だけでなく，現職教員に対してより良いバックアップを行う役割が大学にはあるのではないか。
- ◇有識者会議報告書の中で，離職率の調査などについても言及されており，それらも含め今後検討していきたい。

II. 議事要旨の確認

学長から第79回経営協議会の議事要旨の確認があり，原案のとおり承認された。

III. 審議事項

1. 就業規則の改正について

田中理事から，就業規則の改正について，審議資料1に基づき説明があり，審議の結果，役員会に諮ることとなった。

（主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員，◇は学内委員）

- 給与支給日の変更理由は何か。
- ◇業務改善を図ることが目的であり，時間外勤務手当の試算も行っている。
- 特別休暇に関連して，年次休暇の取得が十分でない場合は，年次休暇取得率が下がると思われる。働き方改革をしっかりと行わないと，休みが取れないのではないか。
- ◇声かけをしながら，年次休暇も取得できるように働きかけていきたい。

IV. 協議事項

1. 山口大学基金と山口大学後援財団の統合後の支援事業について

古賀理事から，山口大学基金と山口大学後援財団の統合後の支援事業について，協議資料1に基づき説明があり，種々意見交換が行われた。

（主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員，◇は学内委員）

- 統合後の支援事業の周知とともに，特に卒業生がどういう役職に就いているかという

- ことに関して、学部同窓会を通じてのフォローアップもお願いしたい。
- ◇現在、卒業生のいる企業や各学部同窓会の支部会もまわっている。また、今後 COC+ の関係で学生の就職等、実績ができたところにもまわっていききたい。
 - 創基200周年の際は目的が明確だったが、今回は少し明確でないように思われる。
 - ◇これまで基金は学生支援に特化し、他方、後援財団は主に研究支援に対して寄附をいただいていた経緯があり、規則も含めて整備していききたい。
 - ◇基金は大学にとって重要な事業だと考えている。財政状況から運営費による学生支援が厳しくなっており、寄附を集める事業をもっと発展させていききたい。
 - 目的が広がると説得力がなくなる。事業名に対する名指しの寄附はできるのか。
 - ◇ボート部への寄附の例もあり、特定の事業への寄附も含め、ルール化を検討したい。
 - 大学の基金は、使い方を大学に任せるものだと、一般の方に理解していただく取組が必要であると思われる。
 - ◇寄附者の方がどういう支援に使ってほしいのか記入でき、実際に支援を受けた学生の声を手紙等で寄附者の方に届け、満足感をお返しするようなやり方も考えていきたい。

2. 本学の財政状況及び平成29年人事院勧告について

吉岡理事及び田中理事から、本学の財政状況及び平成29年人事院勧告について、協議資料2に基づき説明があり、種々意見交換が行われた。

(主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員)

- 年間の総額予算を把握しているのであれば、月単位で分けて把握すべきではないか。また、人件費の増加予測に対して想定できるいくつかの対策案を示していただきたい。
- ◇大学の中は流動性が高いこと、また自己都合退職者が多いことから、定期的に把握しながら予算を執行してきた。執行状況についての一層の見える化は今後検討したい。
- ◇人事委員会を設置し、各部局の教員の雇用計画の提出や、定年及び中途退職者の後任補充の一定期間の保留をお願いしている。また、補充の際は、若手教員の採用による年齢構成の改善や女性教員の増も考えている。
- 勤勉手当について、民間では従業員に対して、よくやる人とやらない人をきちんと評価して支給しているが、大学はどうか。
- ◇大学のミッションに対しての個人の評価と給与への反映に関しては難しい面があり、プラスの評価とマイナスの評価については今後検討していく必要がある。
- 昨今、民間の賃上げ率は年2%以上のペースで改定されている。他大学と比べて人件費率が高い要因を分析して対策を打ち、大学も理想は人事院勧告を全うしてほしい。
- ◇他大学の状況も調べているが、正確には実際の中身がわからない面がある。同じ予算範囲の中で人件費を保とうとすれば他のサービスに影響があり、教育研究の質が低下しないよう工夫しながら、バランスも考慮しなくてはならない。

V. 報告事項

1. 平成30年度概算要求について

吉岡理事から、平成30年度概算要求について、報告資料1に基づき説明があった。

2. 「やまぐち SPACE HILL」構想（仮称）について

吉岡理事から、「やまぐち SPACE HILL」構想（仮称）について、報告資料2に基づき説明があった。

3. 平成29年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラムの採択について

堀理事から、平成29年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラムの採択について、報告資料3に基づき報告があった。

V. その他

1. 山口大学の主な動きについて

中島総務部長から、山口大学の主な動きについて、その他資料1に基づき報告があった。

2. その他

学長から、「人生100年時代構想会議」の目的と主要テーマについて、配布資料に基づき説明があった。

【 配付資料 】

< 紹介資料 >

- 1 教育学部紹介リーフレット
- 2 ちゃぶ台プログラム紹介リーフレット
- 3 教育学部・教育学研究科の取組紹介

< 参考資料 >

- 1 第79回経営協議会議事要旨（案）

< 審議資料 >

- 1 就業規則の改正について

< 協議資料 >

- 1 山口大学基金と山口大学後援財団の統合後の支援事業について
- 2 本学の財政状況及び平成29年人事院勧告について

< 報告資料 >

- 1 平成30年度概算要求について
- 2 「やまぐち Space Hill」構想（仮称）について
- 3 平成29年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラムの採択について

< 報告資料（その他）資料 >

- 1 山口大学の主な動きー平成29年6月～平成29年8月ー
- 2 山口大学の主な動き（追加資料）
- 3 「人生100年時代構想会議」の目的と主要テーマ